



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月26日

上場会社名 株式会社 帝国ホテル
 コード番号 9708 URL <https://www.imperialhotel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 定保英弥
 (氏名) 杉山和久
 TEL 03-3504-1111

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	9,434	63.0	△551	—	△75	—	△88	—
2022年3月期第1四半期	5,788	74.9	△2,996	—	△2,162	—	△2,175	—

(注)包括利益 2023年3月期第1四半期 △65百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △2,049百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△1.49	—
2022年3月期第1四半期	△36.68	—

(参考)EBITDA 2023年3月期第1四半期 662百万円 2022年3月期第1四半期 △1,441百万円
 (EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	56,923	37,667	66.2
2022年3月期	59,111	37,970	64.2

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 37,667百万円 2022年3月期 37,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		0.00	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,600	51.3	△1,400	—	△790	—	△800	—	△13.49
通期	43,100	50.6	200	—	1,050	—	1,000	—	16.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	59,400,000 株	2022年3月期	59,400,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	75,988 株	2022年3月期	75,988 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	59,324,012 株	2022年3月期1Q	59,324,012 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、感染防止と経済活動の両立により、徐々に回復の動きがみられたものの、新型コロナウイルスは感染力の強い変異株を中心に流行が長期化していることに加え、不安定な国際情勢に伴う原材料価格の高騰や円安等の影響もあり、先行き不透明な状況となりました。

ホテル業界におきましては、訪日外国人客や国内宿泊需要は十分な回復に至らなかったものの、前第1四半期連結累計期間に発出されていた緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が2022年3月に終了し、営業の制限が緩和されたことで、国内個人消費を中心として徐々に需要の回復が見られました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、引き続き感染防止を徹底し顧客に安心して利用いただけるサービス体制を構築し、需要の回復に万全の態勢で臨んでまいりました。さらに、帝国ホテル東京の建て替え計画の完了を見据え『中長期経営計画 2036』を策定したほか、京都における新規ホテルについては建築工事が始まるなど、第二の創業ともいえる両計画に向けて、収益の確保と雇用の維持にグループ一丸となって注力してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比63.0%増の9,434百万円となりましたが、営業費用における固定費負担等を補うには至らず営業損失は551百万円となり、雇用調整助成金等を加味した経常損失は75百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は88百万円となりました。

また、当社グループでは、2022年5月12日に公表した『中長期経営計画 2036』においてEBITDA（経常利益＋支払利息＋減価償却費）を定量目標の一つとしております。当第1四半期連結累計期間のEBITDAは662百万円となりました。

セグメントの業績におきましては、ホテル事業の売上高は前年同期比73.6%増の8,633百万円、営業損失は384百万円となり、不動産賃貸事業の売上高は前年同期比2.0%減の803百万円、営業利益は前年同期比6.5%増の335百万円となりました。

なお、当社グループが営むホテル事業は、第1四半期及び第3四半期に宿泊及び宴会需要が強く、売上高が多く計上される傾向があります。しかしながら、2021年3月期第1四半期連結累計期間以降、新型コロナウイルスの世界的な感染の影響により、例年の傾向とは大きく異なる結果となっております。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて3.7%減少し56,923百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.1%減少し29,299百万円となりました。これは現金及び預金の減少などによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し27,623百万円となりました。これは有形固定資産の減少などによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて25.5%減少し5,076百万円となりました。これは賞与引当金の減少などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し14,179百万円となりました。これは退職給付に係る負債の減少などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し37,667百万円となりました。これは配当金の支払いなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績につきましては上記の通り徐々に回復したものの、足元においては新型コロナウイルスの感染者数が急増して第7波に突入したなど、今後厳しい経営環境が予想されます。

2022年5月12日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,216	9,989
売掛金	1,666	2,486
有価証券	15,905	15,504
貯蔵品	619	676
その他	801	649
貸倒引当金	△7	△6
流動資産合計	31,201	29,299
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,651	9,079
その他（純額）	5,361	5,719
有形固定資産合計	15,012	14,799
無形固定資産		
投資その他の資産	1,142	1,119
投資有価証券	6,134	6,091
その他	5,620	5,612
投資その他の資産合計	11,755	11,704
固定資産合計	27,910	27,623
資産合計	59,111	56,923
負債の部		
流動負債		
買掛金	832	912
未払法人税等	51	23
未払費用	1,934	1,383
前受金	812	927
賞与引当金	654	26
その他	2,527	1,803
流動負債合計	6,813	5,076
固定負債		
退職給付に係る負債	6,907	6,837
資産除去債務	1,010	1,013
長期預り金	3,997	3,928
建替関連損失引当金	1,993	1,993
その他	418	406
固定負債合計	14,327	14,179
負債合計	21,141	19,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,485	1,485
資本剰余金	1,378	1,378
利益剰余金	34,639	34,314
自己株式	△89	△89
株主資本合計	37,413	37,087
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	844	830
退職給付に係る調整累計額	△288	△250
その他の包括利益累計額合計	556	579
純資産合計	37,970	37,667
負債純資産合計	59,111	56,923

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	5,788	9,434
材料費	1,243	2,124
販売費及び一般管理費	7,541	7,861
営業損失(△)	△2,996	△551
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	16	37
持分法による投資利益	-	26
雇用調整助成金	676	269
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	60	89
その他	78	48
営業外収益合計	838	476
営業外費用		
持分法による投資損失	4	-
営業外費用合計	4	-
経常損失(△)	△2,162	△75
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,162	△75
法人税、住民税及び事業税	7	6
法人税等調整額	6	6
法人税等合計	13	13
四半期純損失(△)	△2,175	△88
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,175	△88

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純損失 (△)	△2,175	△88
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87	△16
退職給付に係る調整額	38	37
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	126	23
四半期包括利益	△2,049	△65
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,049	△65

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書(2022年6月27日提出)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,972	815	5,788	—	5,788
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	5	5	△5	—
計	4,972	820	5,793	△5	5,788
セグメント利益 又は損失 (△)	△2,799	315	△2,484	△512	△2,996

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,633	801	9,434	—	9,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	2	△2	—
計	8,633	803	9,437	△2	9,434
セグメント利益 又は損失 (△)	△384	335	△49	△502	△551

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。